

一般質問

この定例会では、議案や市政全般について、5人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。その概要は、次のとおりです。
 (一) 内には、各会派等からの質問
 申し出時間を記載しています。

会派名など	質問者数	質問時間
水曜会	2人	80分
誠友会	1人	45分
日本共産党	1人	35分
無所属	1人	30分

*一般質問の録画放送をインターネットで見ることができます。(詳細は下段)



連石 武則
水曜会
(40分)

観光行政は

問 ①点在する観光資源の一層の活用には、受け入れ環境の整備と周遊性が必要と考えるが、②県は令和5年度末までに鞆町山側トンネルの完成をめざしている。開通後の観光への効果は、

答 ①自家用車で本市を訪れる観光客が多く、駐車場の確保やト

イレの洋式化、案内看板などの受け入れ環境整備に努めている。
 また、周遊性を高めるためモデルコースの設定やデジタルマップの充実などを図っている。令和4年度には、海や山などの自然、祭りや神社などの歴史・文化、その地域でしかできない体験や学びなど個性豊かな地域資源の可能性を調査し、それらをつなぐことで周遊性を高める方策を検討する。
 ②鞆の浦から沼隈、内海、松永地域や尾道方面へ、海と陸の両面からつながり、周遊性の幅が大きく拡大するものと考えている。



石田 実
水曜会
(40分)

困難な状況にある子どもへの支援の取り組みは

問 経済的困窮やいじめなどに対して学校が担う役割は、

答 毎日の健康観察や授業などを通して日々の小さな変化に気づき、状況把握している。気になる状況は校内委員会等で情報共有し面談や家庭訪問などで個別に悩み

や思いを聞き、状況に応じた取り組みをしている。家庭を取り巻く環境などへの働きかけが必要な場合は、学校、教育委員会、こども家庭センターや保健福祉局等が連携し、必要に応じてケース会議を行い、課題解決に取り組んでいる。今後は保健福祉局と教育委員会がより一層連携して課題を抱える子どもや子育て家庭を早期に発見し支援につなげる必要がある。令和4年度はモデル校を決め、各種データを整理、分析し、虐待の発生や非認知能力を含む学力に影響が大きい要素を明らかにしていく。症カフエに参加できるモデル事業を実施する予定である。



小島 崇弘
誠友会
(45分)

フレイル予防の推進は

問 モデル事業として、高齢者の自宅と地域の通いの場をウェブでつなぎ、自宅でフレイル予防する試みに取り組んでみては、

答 ウェブの活用は、気軽に参加できる手法として有効と考える。令和4年度は、スマートフォンなどを活用し、自宅に居ながら体操や認知

有害鳥獣対策は

問 IOT技術を活用した実証実験の取り組みは、

答 昨年、蔵王学区において熱源を検知する赤外線センサーを8カ所設置して、出没情報をスマートフォン等で確認する実験を行い出没が多い箇所の特定ができた。令和4年度は、AIカメラを活用して鳥獣の識別精度の向上を図るなど、実用化に向けて取り組む。

* 3月定例会の一般質問の録画放送を視聴する場合
 各議員記事のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の録画が視聴できます。
 また、[福山市のホームページ](#) → [福山市議会](#) → [議会中継](#) → [ここからも視聴できます。](#)